

那須 リベンジ!? [編集する](#)

2013年07月21日 17:32 [友人の友人まで公開](#)

12 view



今年は梅雨明けも早く、何の準備もせずに、3連休がきてしまったような。。。で、どこに行こうかと悩んだ挙句、一緒に同行するOさんの候補地の一つ。

～那 須～

それはかつて、トラウマ(!?)が残ってしまった山でした😞

回想すること、2005年4月。

トレーニングがてら、気軽に出発。

→残雪期。中の大倉尾根をトレース頼みで歩く。(→これ、反省。)

→(14:00)スキー場分岐付近のトレースがあやふや。

そのトレースが切れた瞬間、

→滑落...😞

→雪の斜面と草むらの中を滑り落ち、右もも強打。アイゼンも片方紛失...

→ここどこ!? (道迷い...😞)

→(14:30)毘沙門沢まで下る(→沢に下るのは、やってはいけないパターン)

→沢の中を歩くが、腰の高さまで水が...

→仕方ない、登山道を目指そう。そして急斜面を横ばいになりながら、

→藪こぎ...

→(15:30)あっ、あの平らな場所は、登山道! 間違いなく夏道!!

→(15:50)林道出合。ここから再び残雪の上を歩く。

→トレースをだどるが、トレースがめちゃくちゃ...

赤い目印もついていたりするのに、おかしい...

→道迷い Part II ...

→(17:00)北温泉に電話「下りれませーん」

北温泉:「自力で下りてきてくださーい。」

→(17:30)北温泉に電話「やっぱり下りれませーん」

北温泉:「自力で下りてきてくださーい。」

→(18:00)北温泉に電話。電波が繋がらない。

(→この間、北温泉が栃木県警に通報)

→(18:30)山岳救助隊より電話「そこを動くなー。」

→はあ...。そして助けを待つこと2時間半。

心細く、でも満月バンザイ...

→(21:00)山岳救助隊、到着

→その後、山岳救助隊と若干道迷いつつ...

→(21:30)無事、北温泉に下山。

→事情聴取... 😊

(滑落したことは黙っておく... 💧💧)

ご迷惑をおかけしましたっ m(_ _)m

と思いつつ、このとき、誰からも責められなかった。山岳救助隊の人も、県警も優しかったし、チョコをくれた人もいたし、「また季節を変えて那須に来てください」と声をかけてくれる人までいた。それがかえって心に痛かった... 😊

そして、山ほどの反省(ここでは割愛... 💧💧)を心に刻みつつ、それでも無事に下山できたから、経験値はアップしたはずだと納得したところで💡

月日が経つこと、早9年。(早いなあ～)

【2013.7.15】

前夜、横浜を23:30に発ち🚗、那須の北温泉駐車場に3:40着。ここで少し仮眠...、かと思ったら、Oさんは行く気満々。(というより、「ここでwwを休ませたら、おまえ起きないだろ」と言われる。まあよくぞお見通しで💧 (=夜更かしは強いんですけどね🌃))

3:55 出発。しばらくは車道歩き。



朝の空気は新鮮だったが、なんだか眠い…。しかもガスが…。

結局、ロープウェイ付近の登山口の東屋で仮眠し(5:15-5:40)、二度寝し(5:45-6:10)、目が覚めたら、太陽が🌞 気持ちよく出発👣

6:30、ゆっくり登り始める。登山口～峰の茶屋までは緩やかな登り。犬を連れて回る登山客の姿も。しかし樹林帯を抜ければ、非常に風が強い。





実は那須、初めて来たときも(2001年1月)、強風で撤退しているので、おれは那須とは相性が悪いのかもしれない!?



那須山頂方面。真っ白。

峰の茶屋が見える頃には、ポツポツと雨も降り出してくる。若干濡れた身体で峰の小屋に入ると、ここから先に進むか下山しようかで迷っている登山客で溢れていた。

おれらはとりあえずレインウェアを着て、茶臼岳を目指すことにしたが……。



歩き始めて、久々のこの感覚。

WILDWIND~ 🏹

きたあー 🏹 🏹

不謹慎だとは思いますが、やっぱりこの風はわくわくする。何度も耐風姿勢をとりつつ、でもこの先に進みたいくなる。



茶臼岳界限のお鉢巡りは、最高潮の風が吹き荒れるが、



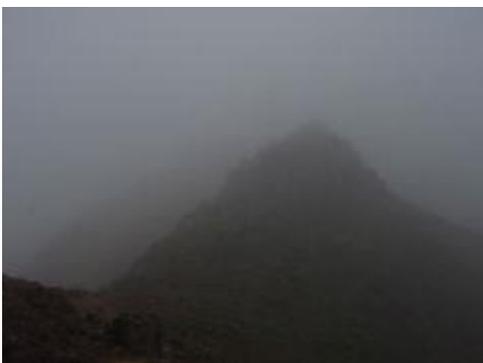
茶臼岳山頂!

(実は茶臼岳、初登頂🙌)

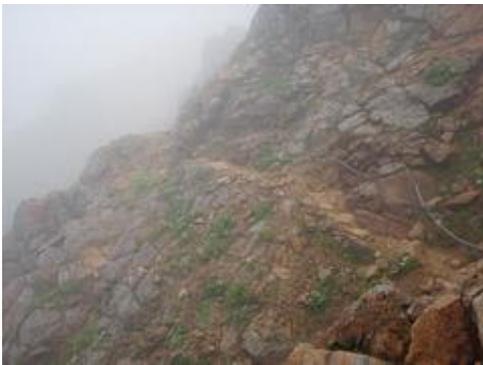
再び峰の茶屋に戻ると、登山客はさらにごった返している。ロープウェイも強風で止まっているだろうと、そのまま下山する人が多数。とりあえずおれらはラーメンで腹ごしらえした後…、

多くの登山客の視線を浴びつつ、出発～!👊

峰の茶屋～朝日岳～北温泉分岐は、ほぼ遮るものがない稜線。強風はますます荒れ狂う。でも、男にはやらねばならないときがある!



朝日岳は、ガスの中。



稜線は、鎖場の連続。そして、その先にあるのが、



朝日岳(強風～)



(おまけで、2005年4月はこんな感じ。)

そして



真っ白な稜線歩きはもう少し続きまして、



風もこんな感じでした...。(風速何メートルなんだろう!?) こうなりやとことん悪天候の山を楽しむしかない!?



北温泉分岐～三本槍岳は、多少身を隠せる道が続いたが、今度は雨。ズボンが泥まみれになりながら、



三本槍岳! (でも1分もせず、退散～😓)

さて北温泉分岐に戻り、あとは中の大倉尾根を下るだけ!? いいえ、違います。今回はここからが本番。ここだからこそ、気を緩めてはいけません😓 では、以下9年前の記憶とコラボで。



赤面山分岐。草むらに埋もれてた。。。



2005年4月。こちらは雪に埋もれてました～😁



下りルートはこんな感じ。たまにガスが抜ければ、遠方に那須高原が見渡せます。



こちらは、ただ雪の中を尾根沿いにザクザク下るのみ😁



振り返った山頂方面。森林限界は超えていて、晴れてたら暑そう～🌨️



見てるだけなら気持ち良さそう～😊

その後、当時は中の大倉山付近で南に曲がる付近まで来たのは確実に、



こんなブナ林の中を、



木の杭に沿って歩いていたのだが、やがて杭がなくなり、トレースもなくなり、うろうろしていた最中、足を踏み抜いて、滑落... 🏠👇👇👇

でも、今回は迷いたくても迷えないほどの 1 本道。



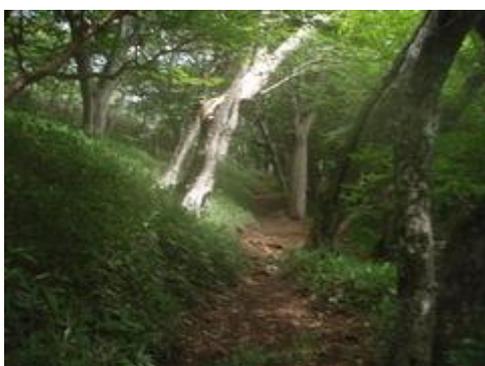
ガスの下に抜けたら、どんどん晴れてきたし。



スキー場分岐と言われるポイントで、確実にここから南側に曲がれる。ここ、見晴は悪いけど、休憩にはびったり。Oさんは昼寝タイム👉

おれは、しばしうろろしてみる。この付近で滑落したのは間違いなく、登山道の脇の熊笹の先に、おそらく削れた斜面があるのだと思う。やれやれ😓

そして、ここからも当時に思い出しながらの下山だったが、



歩いてみれば、何の変哲もない登山道。当時、毘沙門沢から藪漕ぎしながら登ってきた、と思われる斜面は、熊笹が生い茂っていた。でもそれがどこなのか、はっきりとはわからなかった。そして、登山道を歩いている限り、平和な時間が過ぎていくだけ。登山道は本当にありがたい✨

林道出合。

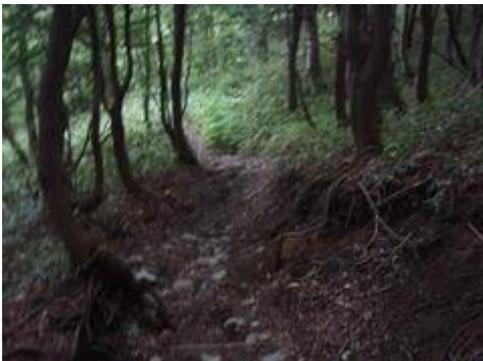


当時、この看板の近くで、3時間弱助けを待っていたんだなあ。



この看板も見覚えあり。この看板に沿って歩いたのに、迷ったんだよなあ💧💧

でも今回ここから先に足を踏み入れてみても、登山道は周囲よりも若干低く削れており、絶対に間違いようがない。



前回は登山道の左側をウロウロしていたはずだが、この夏道からみれば、そこは熊笹で覆われた、ただの藪。夏だったら絶対迷い込むことはないだろう。

こうなると、あれだけ道迷いしたあの日は、いったい何だったんだろう…。単に、キツネにつままれただけか





北温泉まであと0.6km。こういう人工物も、実はほっと一息つかせてもらえるものなのだ。そして、今こうして無事に歩けていることに感謝だね～✨

3:55 北温泉駐車場

4:25 - 4:35 大丸温泉

5:15-6:30 ロープウェイ駐車場(東屋) (仮眠)

7:15 - 7:30 峰の茶屋避難小屋

8:10 茶臼岳

8:50 - 9:25 峰の茶屋避難小屋 (昼食)

10:10 朝日岳

10:52-10:57 北温泉分岐

11:22 三本槍岳

11:50 北温泉分岐

12:05 赤面岳分岐

12:50 - 13:20 スキー場分岐 (昼寝)

13:50 林道出合

14:20 北温泉

その後、最後の急坂を下りきったところで、ここに来たかった～!!



北温泉

9年越しの夢が実現👌

そして、この名物が、



通称「泳ぎ場」と言われる、泳げる温泉(15m×10m)。ちなみに混浴だが、外から丸見え。水着で入るカップルもいた。また、Oさんいわく、それほど熱くないのに、泳いでいると火照ってくると(=Oさん泳ぎすぎ!)

この「泳ぎ場」以外にもいくつかの温泉があり、日帰り入浴でも出入り自由。ただ惜しまれるのは、洗い場がないこと。山の後だし、できればシャンプー等でさっぱり洗いたかった、かな。

(日帰り入浴¥700)

そんなこんなで、無事下山できて本当によかった。Oさんからは、トラウマが克服できたならよかった、と言ってもらえた。ありがとうございます。

次に那須に来るのは、いつだろう!? でもまた懲りずに、同じ道を歩いてみたいな。(もちろん残雪期に!?)

